

受領 令和2年11月25日 0時00分

通告番号 (1) 1/2

令和2年11月24日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
上 地 榮



一般質問通告書

第503回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質 問 要 旨	答弁を求める者
1 新型コロナウイルス対策事業について (1) 第1次及び第2次補正事業のそれぞれの事業総額、及び直近の執行済み額、執行率は。 (2) 第1次及び第2次補正事業のそれぞれの臨時交付金を除く負担総額とその財源内訳は。 (3) 「新しい生活様式」対応支援事業の6100万円及び1億500万円の具体的な事業内容と進捗状況は。	
2 居酒屋「ん」の店の右手より上に移動して、牛舎、御菓子御殿流通センターから村道5号線につなぐ道路の村道認定について 楚辺自治会は戦後強制立ち退きで字面積の約50%がトリイ基地に使用され、前方は海、北は都屋でこれ以上住宅地がないのが現状である。早めに上記の村道認定で住宅地の確保が必要である。このままでは墓地になってしまうのではないかと危惧する。 (1) 村道認定の基準は。 (2) 当該道路を村道認定するにあたって課題事項として、どういった点があるか。	
3 水上バイクの規制について (1) 6月から10月にかけての週末に水上バイクの騒音がひどく区民から苦情が多く寄せられてきた。村として水上バイクの禁止区域に指定できないか (2) 不可能であれば、関係機関と協議の上、対策できないか。	

質 問 要 旨	答弁を求める者
4 大添地域のバス停の上屋の設置について 当該地域には 1,507 人（令和 2 年 11 月 16 日現在）が居住しているが、高齢者や免許を持たない女性も多い。そこでバス利用者も多く、夏場は陽射しが強く、バス停に居られないと意見が多数ある。雨の日は建物の陰に隠れ避けている。しかし、バスの運転手が気付かず通り過ぎてしまうことも多い。そのため、バス停に日陰に風雨対策のため上屋の設置ができないか。	
5 読谷村民の交通安全のための提言 上記の見出しについては今年の 9 月 4 日に村役場駐車場にて事故を起こしたことにより 2 点の提言が当該者からあった。見解を問う。 （１）駐車するとき、バックで入れて、出る時は前進する。 （２）イオン、マックスバリュの駐車場のようスピードを落とさせる工夫をすること。	

受領 令和2年11月24日 0時12分

通告番号(2) 1/2

令和2年11月24日

読谷村議会

議長 伊波篤殿

読谷村議会議員

國吉雅和



一般質問通告書

第503回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質 問 要 旨	答弁を求める者
1 新型コロナウイルス感染症対策事業について、11月16日の全員協議会で第1次・第2次補正事業の説明を受け (1) 補正総事業額と国と村それぞれの財源額を求める。 (2) 村独自施策の事業名とその執行状況を求める。 (3) 感染症対策国庫補助金の執行は繰越明許可能か。	
2 古堅南小学校改築事業について (1) 事業の実施スケジュールを求める。 (2) 事業費総額と国・県・村の負担額 (3) 幼稚園校舎は複数年の施設か、また、新型コロナウイルス対応として、蛇口の非接触型「自動水栓」の導入を求める。	
3 県教育委員会は特別支援学校の過密化を解消するため、中部地区への特別支援学校新設を計画している。沖縄県で最初に障がい児教育を実施した村として、検討することを求める。	
4 学童クラブ育成について (1) 放課後児童健全育成事業を活用している学童クラブ名と当該事業を活用する公設・民設の設置スケジュールを求める。 (2) 当該事業運営補助金の1施設に対する国・県・村の補助額を求める。 (3) 当該事業での待機児童数と行政が把握している放課後児童健全育成事業の利用見込数を求める。	

質 問 要 旨	答弁を求める者
5 読谷西部土地改良地区等の農用地除外について （１）農用地除外の筆数を土地改良地区内と地区外で求める。 （２）農用地除外未適用の筆数とその理由を求める。 （３）既建築・建築途中・建築申請中の件数をそれぞれ求める。	
6 読谷西部土地改良地区の環境整備について （１）当該地区の街灯・カーブミラー・停止線等の設置の検討を求める。 （２）改良事業で設置されたゴミステーションの活用を求める。	
7 豚熱について （１）豚熱被害村内農家への補償の現状説明を求める。 （２）農家は豚舎整備と残さ加熱処理の厳格化に懸念を抱いているその事の説明を求める。	

受領 令和2年11月24日 0時02分

通告番号 (3) 1/2

令和2年11月24日

読谷村議会

議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員

城間 真弓



一般質問通告書

第503回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質 問 要 旨	答弁を求める者
1 貧困対策から見える家庭支援について。子どもから大人まで安心して暮らせる優しい村づくりを。 (1) 2019年12月、私の一般質問にて今後の貧困対策事業の方針として中学校区ごとに2、3か所の事業を展開していきたいとの答弁があったが、その進捗は？ (2) 人口3万人を超える県内の自治体で、子ども食堂が一つもない自治体は何か所あるか。 (3) 本村の貧困対策支援事業の事業コンセプトの内容と、この事業内容はどのようなメンバーで、どのように決めたのか。 (4) 私が県内の貧困対策事業について、サービスを受ける子どもや保護者に3か月という期限を設けている事業は本村以外に聞いたことがないが、他の市町村にも同じように期限を設けている自治体は。 (5) 貧困問題から起こりうる「子ども・若者のヤングケアラー」とは。「ヤングケアラー」の意味と共にその課題等は認識しているか。	
2 中学生までの医療費助成制度（通院対象年齢）の拡充を強く求める。村としての方針を問う。 (1) 小学校卒業まで通院費を助成した場合の試算と、中学校卒業まで通院費を助成した場合の試算は。 (2) 今年度、中学校卒業まで通院費の助成を行っているのは沖縄県全体の何％か。また近隣市町村の状況は。 (3) 中学校卒業までの通院費を助成した場合の子どもや保護者にとってのメリットとは。	

質 問 要 旨	答弁を求める者
(4) 村として中学卒業までの医療費助成制度について、今後の方針とは。	
3 平和行政を担う読谷村として、トリイ通信施設の機能強化にどう向き合い歯止めをかけるのか。村の平和行政への姿勢を問う。 (1) 2015 年の 12 月にキャンプ・キンザーの倉庫群をトリイ通信施設に移動することを容認して 5 年の月日が過ぎた。現在の進捗状況とは。 (2) 読谷村のスターバックスの十字路から、大木海産物へ向かう道の途中で、トリイ通信施設内にとっても大きな施設建設が 2 か所、また、そのとなりの敷地に軍事訓練に使われるような訓練場が新たに建設されている。この 2 か所の建設物と、そのとなりの敷地にある訓練場のようなものは何なのか。 (3) 今年度に入り、四者調整会議は何回行われ、どのような話し合いが行われたか。 (4) 2019 年 9 月に私が一般質問でアメリカ国防総省がホームページで公表した 18 年度軍事建設事業計画において、トリイ通信施設で新たに特殊作戦部隊用の「戦術装備品整備複合施設」を建設するとあり、沖縄の両社の新聞にも大きく取り上げられました。そのことに対し、本村はトリイ基地や防衛局に確認したところ、両者から「軍の運営上の理由で答えられない」との回答だったと私に答弁しましたが、村としてはその後何らかのアクションを起こしたのか。	

令和2年11月25日

読谷村議会

議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員

長 濱 宗 則



一般質問通告書

第503回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質 問 要 旨	答弁を求める者
1 都市公園の管理委託から (1) 令和2年ユーバンタ公園が開園し15番目の街区公園で楚辺自治会へ管理委託されました。都市公園は総合公園2か所、地区公園2か所、街区公園が15か所となります。令和2年度公園施設管理委託料託料(1,581万5,222円)の内容を伺います。 (2) 総合公園、地区公園、街区公園の清掃、草刈り等の公園施設管理委託料(自治会)への内訳を伺う。 (3) 新伊良皆公園の指定管理への移行予定は。 (4) 牧原公園の東屋設置の予定は。 (5) 泊城公園に新たに遊具を設置する考えはないか。	
2 県内の増える不登校から (1) 小中高、いじめ1万4,000件余、不登校児童・生徒3,400名余、と報道されましたが読谷村の7小中校の実態を伺う。 (2) 学校側と村とタイアップした支援の取り組み連携は。 (3) 自治体が設置する教育支援センター(適応指導教室)設置は。	
3 学校給食の公会計から (1) 沖縄県内では57.1%に当たる4教育委員会が導入、26.2%の11教育委員会で導入予定がないとの報告が報道されました、令和1年9月の一般質問で人、物等の環境整備が必要であり、保護者の意識が高く、高い納付率が維持されているので公会計の移行はないとの答弁でした、文科省から通知がなされた教員の働	

質 問 要 旨	答弁を求める者
き方改革につながると思うが、再度考えを問う。 （２）課題は「人、物の」整備と答えていますが、具体的な内容を伺う。 （３）ウイズコロナ化、不登校、いじめ問題、学びの保障等で学校現場の教員は日々緊張した状態で勤務されていると思われる。少しでも教員の過重負担を減らし児童生徒の声に向き合う時間が必要である、そのたに公会計化は実施すべきと考えるが対応を伺う。	
4 読谷村地域振興センターの環境整備から ゆんた市場と地域振興センター両施設は補完関係にあると思いますが、雨天や真夏の日々、雨除けや日差しを避ける対策として、両施設を結ぶ通路が必要と思われるが考えを伺う。	

受領 令和2年11月26日 9時49分

通告番号(5)

令和2年11月26日

読谷村議会

議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員

山内 政 徳



一般質問通告書

第503回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質 問 要 旨	答弁を求める者
1 牧原自治会長及び有志の皆様からの村長への要請について (1) 要請の内容について。 (2) 読谷村の対応はどう考えているか。	
2 読谷村共販センターについてその後の状況について	
3 コロナ禍の状況について 生活保護、緊急小口資金、総合支援資金の申請状況(世代別)について。	
4 国民健康保険について (1) 国民健康保険の減免申請の状況。 (2) 国民健康保険の利用状況(総額は)。	
5 村民無料のインフルエンザワクチンの予防接種状況はどうなっているのか	